NEC 照明器具
保存用 取扱説明書

- このたびはNEC照明器具をお買いあげくださいましてありがとうございました。
- 施工の前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

対象器種 "高調波ガイドライン適合品"	L32156MN-F42
適合ランプ	NEC高周波点灯専用蛍光ランプ FHF32 NEC蛍光ランプ FLR40S(/36), FL40S(S/37)

このたびはNEC蛍光灯器具用増灯ユニットをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この増灯ユニットは電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

- 素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

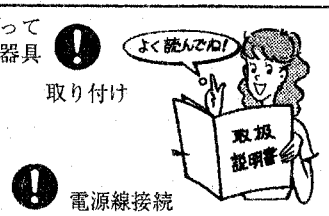
商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ 施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 増灯ユニットの取り付けは、取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源線接続の際は、2 器具本体の取り付け④に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。



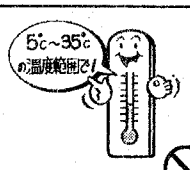
取り付け
電源線接続

- 増灯ユニットを改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

改造

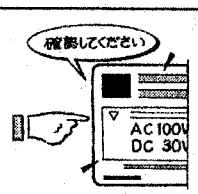
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この増灯ユニットは屋内専用で、5℃~35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。



温度
屋外

- 増灯ユニットに表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(増灯ユニットの定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)



電源電圧

- お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ 使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

電源を切って

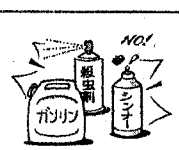
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。

- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- センサなどと組合わせて点滅回数が多くなる場合はHfランプ、FLRランプのご使用をお勧めします。また、FLランプはHfランプに比べて点滅寿命が短くなります。
- 電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。

Hf FHF32
FLR40S(/36)
FL40S(S/37)
適合ランプ

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 増灯ユニットを洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。

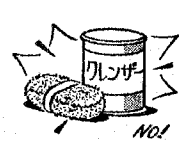


薬品類

- ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。

ソケット

- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。



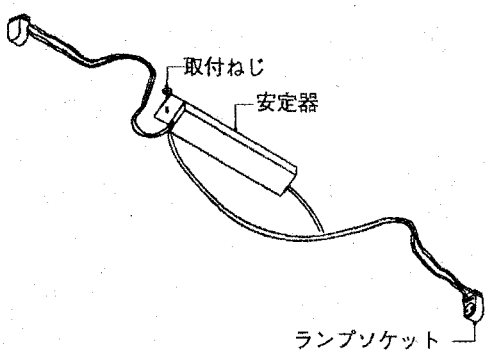
金属部分

- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)

⚠ お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

■各部のなまえ



器具質量
0.4Kg

■ この器具は増灯ユニットです。ME32256MN-F42に取り付けて、3灯用に増灯可能です。但し、器具本体がシステムユニットB32256タンタイV、B32256タンタイKとの組合せ時は増灯できませんので、ご注意ください。増灯ユニット・システムユニットは別売・別梱包です。

■ 増灯した時には、電気容量がアップしますのであらかじめ電気容量についてご配慮ください。

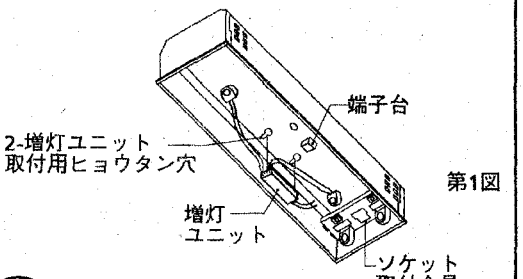
ランプ	入力電流	
	基本灯具のみ	基本灯具＋増灯ユニット
FHF32	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FLR40S/36	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FLR40S	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FL40SS/37	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FL40S	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A

表1

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け準備

① 増灯ユニットを取り付けると、電気容量がアップしますので、表1の電気容量を確認してください。
② 基本灯具の電源スイッチを切ってください。
③ 基本灯具から、ランプ、反射板を取りはずしてください。

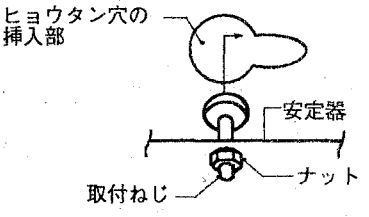


第1図

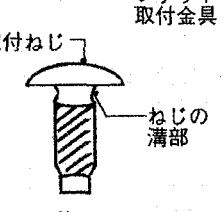
2 器具本体の取り付け

① 増灯ユニットの安定器についた取付ねじを押し上げ、ねじの頭を基本灯具のヒョウタン穴の挿入部に挿し込みに、取付ねじの頭の下部の溝部(第3図)に灯具の板金が挟まるようにしてねじをスライドさせて安定器を仮止してください。(第1図、第2図)

(注) 安定器は基本灯具に貼付してあるラベルに従い、基本灯具の端子台側に安定器の電源線(白・黒コード)側がくるように取り付けて下さい。反対に取り付けるとコードが端子台に届きません。



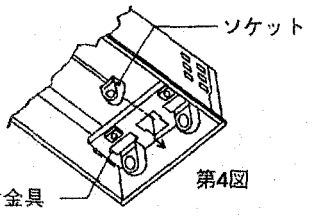
第2図



第3図

② 安定器についたナットを締め上げ安定器を固定してください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

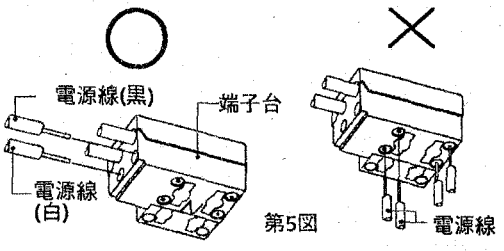


第4図

③ ランプソケットをソケット取付金具の裏側を通して、確実に取り付けてください。(第4図)

④ 安定器の電源線(白・黒コード)を基本灯具の端子台の側面に差し込んでください。(第5図)
端子台のN極側に白色コードを差し込んでください。

安定器の電源線を端子台の下面の穴に挿し込むと発熱、火災の原因になります。



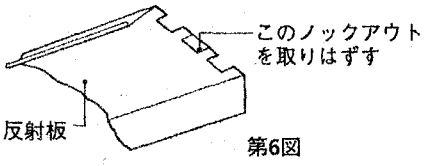
第5図

⑤ 反射板両端のノックアウトを取りはずしてください。(第6図)

⑥ 反射板を化粧ねじで基本灯具に取り付けてください。

不備がありますと、落下の原因となります。

⑦ ランプを全数確実に取り付けてください。



第6図

NECライティング株式会社
東京都品川区西五反田二丁目8番1号(五反田ファーストビル)
〒141-0031 http://www.nelt.co.jp/
※この紙は再生紙を使用しています

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

(001ON052)A